

件名(題名) そうか光生園 利用者・職員の安全を守るための取り組み

近年、新型コロナウイルスによる感染拡大や、気候変動などによる自然災害など、施設の利用者・職員の安全を守るための取り組みが急務となっています。

そこで、そうか光生園では、それらに対応する為、感染症対策に関する専門知識を有する方や、防災行政の担当者に相談を実施しましたので、その時の様子をご紹介します。

【感染症予防対策相談】令和3年9月8日(水)(オンライン形式による相談)

埼玉県看護協会 ナレッジナーシング代表 朝倉智美氏(感染管理認定看護師)

新型コロナウイルス感染症予防に関して、感染管理認定看護師である朝倉氏に、施設内で策定している事業継続計画や、具体的な感染防止に対して、オンライン形式で様々な相談に乗っていただきました。

感染予防に対する基本的な考え方から、万が一の際の初動やゾーニング、スタッフ配置などについて、タブレット端末(iPad)により映像を相互方向で共有しながら様々なアドバイスをいただきました。



【避難確保計画相談】令和3年9月14日(火)

草加市市長室危機管理課 田邊主事

水防法の改正や草加市ハザードマップの更新を受けて、施設で策定している避難確保計画の更新等について相談する為、草加市市長室危機管理課田邊主事に来園いただきました。

施設の構造や利用者の状況を実際に見ていただきながら、安全に避難する方法や避難計画の更新に対して、様々なアドバイスをいただきました。



そうか光生園では、その他にも心肺蘇生法や感染症に関する研修、避難訓練など、安全を守るための取り組みを行っています。皆さんが安全・安心に過ごすことが出来るよう、今後も様々な取り組みをしていきたいと思っております。

「記事：栗原」